

視点の先の未来を見つめて  
**n-a-view**

[ナビュー] Nichiha across the view

2016  
WINTER

vol. **459**

平成28年12月16日発行

## CONTENTS

02 ● NICHIIHA SIDING  
AWARD 2016

28 ● 新商品紹介

31 ● Topics & More

# 第33回 NICHIIHA SIDING AWARD 2016





グランプリ・住宅部門  
矢吹町中町第二災害公営住宅（福島県）  
岩堀未来・倉本剛  
長尾亜子・野上恵子 様

## 第33回

# NICHIHA SIDING AWARD 2016

施工写真コンテストも  
33回目を迎えます。  
応募総数319作品の中から  
各賞が決まりました。  
今号ではその受賞作品を  
一挙にご紹介します。



グランプリ・非住宅部門  
オークフィールド八幡平（岩手県）  
桑原聡建築研究所 様

### 総評



【審査委員長】  
杉本 貴志  
TAKASHI SUGIMOTO

インテリアデザイナー。  
1945年、東京都生まれ。'68年東京藝術大学美術学部卒業後、'73年、(株)スーパーポテトを設立。商業空間のデザインを数多く手掛け、バー、レストラン、ホテルの内装デザインから、複合施設の総合プロデュースまで幅広い分野で活躍。'84年、'85年毎日デザイン賞連続受賞。2008年米紙Interior Design Magazineより「Hall of Fame Awards」を受賞。

この数年来、NICHIHA SIDING AWARDの賞の審査に携わるのが、この季節の習慣であると同時に一つの楽しみにもなった。SIDINGという技術が社会に出現して数十年が経ち、いくつかの建築例として展開・実例を経て日本の四季を経験し、風雨、雪や台風等の強い圧倒的な力を通して気候の変化を受け、今に至っているのである。そして物理的な強度、性能、コストは無論の事、

それだけではなくかなりの期間にわたって我々の気ままな視線を乗り越えねばならない、という宿命を持っている。したがってこの素材は充分施工的にリスクつまり、素早く難しくなく容易な工法を持ち、完成した建造物が美しさを指し、同時に時代的で我々のこの時代の感覚に沿って表現を持つことがとても強く求められるのである。そう言ったことが作例の中に垣間見えるのである。

勿論悪い事ではない。建築の目指すべき方向に少しでも近づこうと足を踏み出そうと

する、前進しようとする気分が見えるのである。多分、設計する人々、あるいは施工に携わる人々の気分や意欲を少し盛り上げる役割を担っているのではないのかも想像できる。そういう風に見ると、若干の凹凸があるのだけれど、その中に際立っているものがいくつかあることに気づかされる。

今回応募された作品は、恐らく素材に工夫を重ね、目的の為に特殊な工法を用いたものは少ないに違いない。また、思考を重ねたにせよ、周囲との差別感を一番の目的にしたものも少ないのではないだろうか。賞の対象となった作例がそのように見える。極めて気持ち良くスムーズにこのサイディングの特性を用いながら違和感を持たずに新しい方向を示している。一つの作例が多くを暗示し、強い影響を放つこともあるし、他の多くの賞はそういう在り方が多いのかもしれないが、このサイディングは多分もう少し水平に近いのだと思うのである。



難波 和彦  
KAZUHIKO NAMBA

建築家・東京大学名誉教授。放送大学客員教授。  
1947年 大阪生まれ。'77年 一級建築士事務所(株)界工作舎を設立。代表作に「箱の家」シリーズがあり、標準化、多様化、サステナビリティをコンセプトに掲げた都市型住宅のプロタイプとしてデザイン・開発を手がける。グッドインテリアデザイン賞、新建築吉岡賞、住宅建築賞、JIA環境建築賞、建築学会賞業績賞など多数受賞。

増大した。このため建設需要が、2008年のリーマンショック以降は収縮気味であった建設業界の供給能力を大幅に超えてしまい、その結果、建設物価や人件費の高騰がもたらされることになったのである。建設工事費の高騰は、当然ながら民間の建設工事にも波及した。それが直接的な要因ではないだろうが、建設工事費の高騰は最終的に建設材料の選択にも大きな影響を及ぼすことだろう。そのような厳しい状況の中で、窯業系サイディングのコストパフォーマンスの高さが浮かび上がったのではないだろうか。メーカーとしてはこうした状況をしっかりと認識した上で、製品の性能向上と新たな製品の開発に取り組みたいだきたいと思う。

例年に比べると、今年度の応募作品は総じてレベルが高かったように思う。例年は、突出した作品の数が限られていたので、入賞作品を選ぶのにそれほど苦労しなかった。しかし今年度は、入賞作品の候補を選ぶのに苦労しただけでなく、グランプリ、プラチナ、ゴールドの作品順位をつける際はかなり議論が交わされ、審査員として嬉しい経験だった。

その要因は二つある。一つは例年以上に野心的な若い建築家の応募が増えたことであり、もう一つは新たに大手ゼネコンの設計部がサイディングが建設業界に広く浸透し、このコンペが設計者に広く知れ渡ったことの結果だと思われる。とはいえこの現象は、逆に建設業界が置かれた厳しい状況の反映だとも考えられる。

# GRAND PRIX

👑 グランプリ 【住宅部門】

## 矢吹町中町 第二災害公営住宅 (福島県)

(設計) 岩堀未来・倉本剛・長尾亜子 様  
(協力) 野上恵子 様

### 受賞者



**岩堀未来 様**  
1972年 千葉県生まれ、1996年  
東京理科大学工学部建築学科  
卒業、1998年 東京理科大学  
大学院工学研究科建築学専攻  
修士課程修了、2000年～2006年  
難波和彦+界+工作舎、2006年  
岩堀未来建築設計事務所設立



**倉本剛 様**  
1972年 東京都生まれ、1997年  
日本大学大学院理工学研究科  
博士前期課程建築学専攻修了、  
1998年～2005年 早川邦彦建築  
研究室、2006年 倉本剛建築設計  
事務所設立



**長尾亜子 様**  
1966年 東京都生まれ、1989年  
多摩美術大学芸術学部建築学科  
卒業、1989～1995年 妹島和世  
建築設計事務所設立、現在、法政  
大学、工学院大学、千葉大学非常  
勤講師



**野上恵子 様**  
1967年 大阪府生まれ、1992年  
東京大学大学院工学系研究科  
建築学専攻修了、1992～98年  
東京大学工学部建築計画室  
室員/助手、2001～05年  
WalzWorkinc.Rome、2014年  
一級建築士事務所riso設立、現在、  
東京工芸大学、関東学院大学、  
東京理科大学非常勤講師

環境要素の  
交流が生まれる、  
安心の住空間。



撮影：淺川 敏  
前面道路から見た北にわ。敷地の高低差をにわに取り込むことで、専有性の高い北にわとなっています。自然素材のホルダーと合わせて、変化のある外観をつくり出しています。

### 審査員評

福島県矢吹町に建つ災害公営集合住宅である。緩やかに傾斜した不整形な敷地全体に、2階建ての住戸ユニットを雁行させながら配置することによって、戸建て住宅的な雰囲気を生み出している。寒暖の差が大きいこの地域の気候を考慮して、南北の自然通風と各住戸の南側に日射を制御する緑的緩衝空間を置いている点が注目される。建物全体の外装を白色系のサイディングでまとめ、表面に木質系の茶色をポイント色に使用している点がきわめて効果的なデザインといえよう。

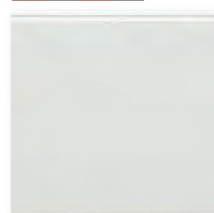
### 受賞者インタビュー

#### 酒蔵復興プロジェクトが 結んだ縁

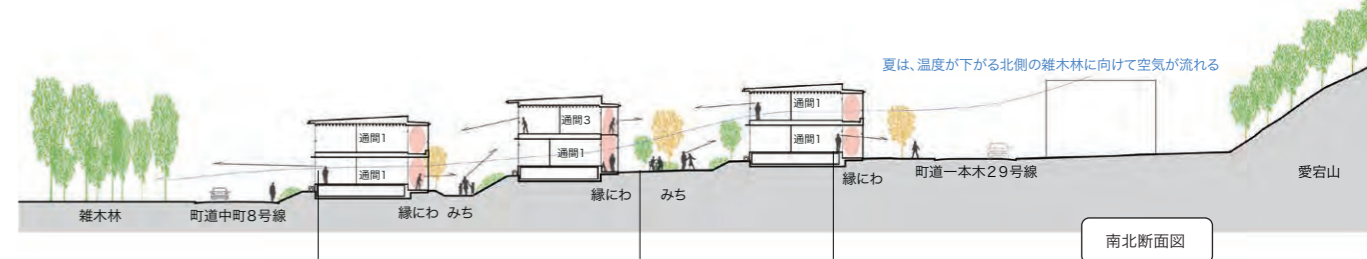
**ニチハ** 岩堀様、倉本様、長尾様、野上様の4名で建築家ユニットを組み、プロジェクトに携わっていますが、まず皆さんのご関係をお聞かせいただけますか。  
**岩堀** 4人で一緒に組むことになったきっかけは、矢吹町にある築150年の酒蔵の復興プロジェクトでした。野上さんと長尾さんは震災直後の2011年から酒蔵の復興プロジェクトをされていて、私が2013年に声をかけていただき参加しました。  
**野上** 酒蔵とは、私の弟を介して以前からご縁があり、大変な被害を受けていました。長尾さんをお誘いして、2011年5月に矢吹町を訪れ、そこから手探りで色々な人に支援を求めたり、尋ねたりする間にだんだん活動が大きくなっていきました。個人的には古いものを生かす仕事をしたいと思っていたこともありましたが、仕事というより手を差し伸べることが始まりで、皆さんも支援と思って関わってくださっています。

**岩堀** お二人は酒蔵復興プロジェクトを通して、「崩壊してしまった町自体を何とかしなければならぬ」と考え、長尾さんの知り合いである東京大学生産技

### 使用商品



フラットウォール  
アグレアMGピュアホワイト  
EPS241G/EPS241N



南北断面図

夏は、温度が下がる北側の雑木林に向けて空気が流れる

術研究所の村松伸教授にお声がけされました。そして東京大学生産技術研究所(以下生研)と福島県西白河郡矢吹町で「震災復興及び復興に向けた連携・協力に関する覚書」が締結され、「まちむすびプロジェクト」が本格始動していったという経緯があります。

矢吹町とまちづくりを進めていく上で、災害公営住宅や隣の自治会館などの建築計画があるということ、以前からの繋がりがもあり、設計者として生研に推薦されていたわけですね。以前勤めていた設計事務所と同僚だった倉本さんに入ってもらって、今の4人体制となりました。皆、個人事務所でしたので、法人化のために「CoS」という合同会社を作ったんです。

野上 そう。「CoS」はイタリア語でお米。まちむすびプロジェクトを推進する任意団体「おむすび」が名前の由来です。

町を中心に居住スペースを

ニチハ 役割分担などはあったのでしょうか？

岩堀 災害公営住宅の設計は私がメインになって動いていました。大まかな骨格を作り、みんなに示してデイスカッションしながら詰めていくという、そんな

ニチハ 役割分担などはあったのでしょうか？

岩堀 災害公営住宅の設計は私がメインになって動いていました。大まかな骨格を作り、みんなに示してデイスカッションしながら詰めていくという、そんな

ニチハ 多くの関係者が共有された「復興まちづくり計画案」\*2で3つのコンセプトが示されていますね？

野上 生研の太田研究室が中心となり「復興まちづくり計画案」を町に提案し

岩堀 造成の敷地の段数とか形が棟数とかなりリンクしているの、造成を考えたながら建物の各棟の大きさや配置を決めていきました。5棟ありきではなく、6棟だった時もあります。もともと多かった時も。敷地のデザインと建物のデザインをリンクさせて最終的にこの形に落ち着きました。

長尾 駐車場が一住戸一台となると、結構なボリュームになります。かつ戸建てっぽくとなるとどうしようかと。各棟のボリュームを造成の敷地形状に合わせて調整するのが、バズルみたいで難しかったですね。

岩堀 住宅地の中に自由に歩ける緩やかなスロープ状の「みち」を通して、東は自治会館、南は小学校、北はお寺に繋がるといことが重要な要素だったので、それに合わせて建物も前後左右に動かして、敷地のレベルも考慮しながら、相当複雑でしたね。

ニチハ 最終的にこの形に至るまでに、道筋が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

役割を担っていました。旧奥州街道中央商店街を復興の中心に据えるという思いが役場にはあり、計画案は町の協力のもと、私たちも議論に参加して形づくられました。

ニチハ 今後の町のあるべき姿を情報共有されたら？

岩堀 そうですね。駅前の旧奥州街道に商店街があったわけですが、町の外に大きな店舗ができるようになり、だんだん中心に人がいなくなっていく状況の中、震災で商店が崩れ、空洞化の加速が懸念されていました。居住スペースを町の中心にもつくるという考えの一環で、災害公営住宅も真ん中にと。

倉本 中心に商業施設を置いてその周りに住居というのが都市計画の通例ですが、計画案では概念をぐるっとひっくり返し、それに町も賛同した。コンパクトに駅近くに住まうというのがこれから一般化されていくと思うので、少子高齢化が深刻な地域においても、一つのロールモデルになるのではないかと思います。

岩堀 町の仮設住宅に住む被災者に、今後の住まいについて役場が調査を行い、災害公営住宅に移りたいか、他に住居を求めたいかというリサーチをもとに、災害公営住宅の規模も決まりました。第一、第二、第三地区、少し離れた中畑地区の4地区に52世帯分が計画されました。第二地区が23戸と一番大きいんです。

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

岩堀 私が見えるきっかけがありましたか？

岩堀 何か決め手があったかといえば、一つは、敷地の南側がちょっと高いんですが、そこに駐車場を配置して、残りの部分に住戸を置くという大きな方針が決まった時期がありまして、それによって今までのスタディが解けたというのがあります。駐車場の周囲に配置するとか、最初は色々なパターンを考え

※1 矢吹町任意団体おむすびが主体となり、まちむすびの中の人々を結び、さらには、まちの内と外近隣のまちの人々を結び、震災後の福島県中通り地域の一体的再生を目指すプロジェクト。地域住民が主体となった活動を、行政や大学の研究機関が技術・学術人材・資金などをさまざまな側面からサポートしていく試み。(矢吹まちづくりプロジェクト事務局より提供)

※2 計画案の3つのコンセプト  
①まちのコンパクト化、まちなか居住を柱とする創造的な復興まちづくり  
②木材の積極利用による新しいまちなみの形成  
③街道沿いの公共空間による「ミニニアイ」の形成  
(太田浩史および太田浩史研究室が2013年2月に作成した復興まちづくり計画案より提供)



全体1階平面図

も一つの課題でした。ですから、南面は当然、開口が多いのと同時に、北面も開口を多くしているんです。

平面計画では、南北に抜ける「通間(とおひま)」と名付けた大小の開放的な筒状空間を緩やかに雁行配置しています。

倉本 雁行させたことで凸凹のスペースができ、窪んだ部分はプライバシーが守られているように感じられたり、共有のスペースだけれど、ちょっと自分専用のスペースにも感じられたり、多様な関係性を生む空間ができあがっています。

「建物の配置に何度もスタディを重ねていっしょなので、外観の表情も重層的で、外壁もそうした景色に溶け込んでいますね！」聞き手(左端)特報第二部第三課 伊藤。



BEST SELECTION

二チハさんの製品を使っていて、質感や  
という利点もあり選びました。以前から  
デザインならみんなが使えやすい材料  
です。工務店さんで手に入れやすいと  
いう外壁についても、二チハさんのサ  
イディングならみんなが使えやすい材  
料です。工務店さんで手に入れやすい  
という利点もあり選びました。以前から  
二チハさんの製品を使っていて、質感や



二チハさん  
デザインにするかを目指  
しました。

をどこかに使うとか、白をベースにする  
といった共通言語は踏襲しています。生  
研のミーティングには第一のチームも全  
員集まるので、話し合いをしながら差  
別化を図っていました。  
**長尾** 街道モデルは、景観誘導タイプと  
して、町の人々を主導する立場の景  
観モデルとして計画され、私たちはみん  
なができる汎用モデルとして、今後建  
えられる建物の模範となるように計画し  
ました。コスト的に外壁を全て木で仕  
上げるのは難しかった。



撮影：浅川 敬

敷地の随所に植えた「花もも」が「白と茶」の風景に映え、彩りのある暮らしをつくり出しています。茶色の壁面はフラットウォール(無塗装品)に和の色を塗装しています。

色味がきれいだなと思っていました。景  
色に迷いはありませんでした。景色に  
沈むようなものを望んでいたもので、フ  
ラットなものを採用しています。  
**二チハ** 好きな場所やこだわりの場所、  
苦労したけど上手くいった点などを教  
えていただけますか？  
**長尾** 女子部がやったところでは、サイ  
ディングの色彩計画ですね。通り抜ける  
「みち」から建物を見ると、妻面の壁  
面に圧迫感があったので色を入れよう  
と。どこに何色を入れるか、敷地をぐる  
ぐるまわりながら町の顔になるところ  
を探しました。ベースに用いたフラット  
ウォールのアグレミアMGビュアホワイトの  
白がまさにイメージ通りで、それに合  
わせた和の色を選びました。「縁にわ」  
の部分は銀鼠色、建物の表面には2色  
の茶色、「つるばみ色」、「利休白茶」とい

う和の伝統色を用いています。町長さ  
んも喜んでくださいました。  
**野上** あと、玄関ホール壁面にも「利休  
白茶」を使ってい  
て、日が暮れると  
センサーで明かり  
が灯り、壁面がす  
ごく優しい色味に  
なります。「縁にわ」の明かりも連動し  
て一斉に灯るので、内壁や天井のラーチ  
合板の木の色あいで行灯のようになり、  
全住戸一斉に灯る夜の風景は、防犯面  
での安心感はもちろん、光が柔らかく  
感じられてすごく綺麗です。この照明  
計画はかなり成功したと思います。  
**二チハ** 2年後、3年後にこの場所がど  
う育っていくか楽しみですね。  
**倉本** そうですね。仮設住宅が存続す  
る来年3月までにこちらへの入居が完  
了し、向こう5年間は災害公営住宅で  
すけれど、その後は町営になりますの  
で、一般の方も入ってくるようになるで  
しょうね。外構が結構広いので、入居者  
だけで植栽を管理するとなると手入  
れが大変で。最初は役場の方もフォロ  
ーされると思っていますが、地域の方にも  
入ってもらって、メンテナンスできるよ  
うになるのが理想ではあります。どう実  
現させるかは課題ですが、逆に庭がみ  
んなを繋げることに作用すればいいと  
思いますね。

岩堀 私が考えているのは、先ほどから



お話ししてきたように、この建物は自然  
環境と密接に関わっていて、その快適さ  
を取り込むような設計をしたので、竣  
工後に、設計時の予測が実際にそうなる  
たのかを確かめたいという思いがありま  
す。例えば、この「縁にわ」、夏場は涼し  
く、冬場は温室になるように設計してい  
ますが、実際はどのように快適さに貢  
献できているか、実験なり測定したりし  
て検証できたらいいなと。まだできるか  
どうかわかりませんが、それが災害公  
営住宅やそれ以外の住宅で快適性に繋  
がることを示せたらと思います。  
**二チハ** 今後の矢吹町との繋がりは？  
**岩堀** 生研主催のワークショップが矢  
吹町で10月は3回予定されていて、1  
回目の10月10日には、町の人が町中  
写真を撮って、その中からいい風景を  
36カ所見つけようという講座が開催さ  
れました。2回目はそれをベースに、そ  
ういう建物がどうできていて、景観と  
どう関係しているのかをみんなで議論  
しましょうという講座が予定されてい  
ます。そうした活動や議論を通じて、  
矢吹町の景観をどうつくっていくかを  
考えていきたいと思っています。  
**二チハ** 本日は本当にありがとうございます。

■設計協力者  
山口建築設計事務所(建築)  
鈴木啓/ASA(構造)  
ymo(設備)  
リュースニング(ランドスケープ)  
ぼんぼり光環境計画(照明)

撮影：新建築社写真部

南から鳥瞰した敷地全景。敷地中央に東西、南北に通る複数の「みち」を配置。冬場の積雪に対し、屋根は北側に緩勾配になっています。



**二チハ** 集合住宅ながら隣に住む人た  
ちとの「適度な距離感」が感じられま  
すね。  
**岩堀** 「適度な距離感」というのは、人  
が集まって暮らす上ではとても重要な  
考えですからね。公共スペースと部屋の  
距離感というのがありますが、室内空  
間でも、南北に長い部屋なので、同じス  
ペースにいても離れていれば多少の距離

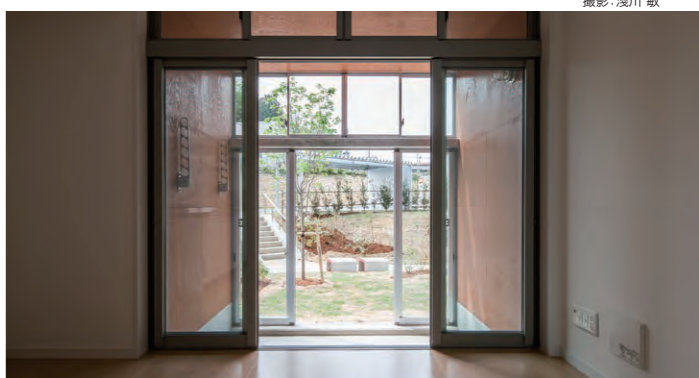
感が保たれることも考えていて。  
「距離感を選択できる」といいますよ  
うか。南北に長いスペースでこれだけ開  
口があれば、距離感が近い方がいい人は  
サッシを開けてみち沿いに出てくるか  
もしれないし、少し隠れたい人はカーテ  
ンをひいて部屋の奥にいくでしょうし。  
**長尾** 最初は4〜5住戸で中庭を囲う  
という話もあったんですが、向かい合っ  
た集合住宅で中庭に集まるとというの  
はちよつと強制的かなと話していたん  
です。あまり強引に「ここで話さない  
と中心をつくるのではなく、風の流れ  
とか光の向きに合わせ、なんとなく南  
を向いて、さりげなく繋がっている、気  
配が伝わる感じがいいかなと。  
**二チハ** 風除室のようなこの空間は？  
**倉本** 「縁にわ」と呼んでいるものです。

各住戸に縁側よりも少し広い、気軽  
に立ち寄って立ち話ができるようなス  
ペースをつくることで、コミュニケーション  
が生まれるのではないかと。いきなり窓  
ガラス一枚ではなく、「縁にわ」が、それ  
ぞれの距離感をキープできるバッファ  
ゾーンになるのではないかと。2階の玄  
関までの階段も、「縁にわ」から見えな  
いように位置を考えています。  
床は防水にしていますから、基本的  
には開放してもいいようになっていま  
す。網戸もついていますし。役場の方と  
「ここは外部か内部か」という話になる  
んですけど…。  
**岩堀** 土間なんです。靴で入れるけれ  
ど、先端に窓がついているという。ちよつ  
と変わっていますね。  
「ここは内ですか？ 外ですか？」とい  
うやりとりを何回したことか(笑)。  
どっちでもいいんですね。  
**二チハ** すでに入居された方たちは「縁

にわ」をどのように使われている様子  
ですか？  
**岩堀** この使い方が皆さんまちまちで  
面白い。例えば絵を飾ってディスプレイ  
みだりに使っている方もいれば、植栽を  
置いたり洗濯物を干したり。閉じてい  
る人もいるし、開けている人もいる。そ  
こに生活が溢れていますね。「縁にわ」  
がいいと思うのは、ここに生活が溢れる  
んですけど、ある程度ここにとどまる  
というか、飛び出すことがないので、住  
宅地の景観としては雑然とせず、とて  
もスッキリしていることです。

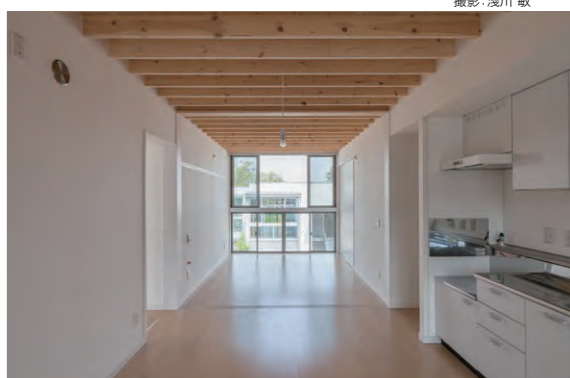
### まち並みのモデルとなる外観に

**二チハ** すぐ近くに同時期に計画され  
た第一災害公営住宅の外観とは異なっ  
ていますが、外観仕上げの差別化を意  
識されたのでしょうか。  
**岩堀** 旧奥州街道沿いに計画された第  
一災害公営住宅を僕らは街道モデルと  
呼んでいて、こちらは、表裏のはっきり  
した敷地条件で、表は木の材質を全面  
的に使った外観仕上げをしています。一  
方僕らが設計した第二災害公営住宅  
は、街道から少し離れた表裏のない敷  
地で、周囲全部に表情があることを意  
識していたので、木の材質を部分的に  
使っていて、外観の計画はかなり違いま  
すね。ただし、景観計画として「白と  
茶」という共通コンセプトがあったので木



撮影：浅川 敬

「通間」の南側に配置された半屋外空間の「縁にわ」。「みち」に面して生活が外へ溢れ出すことを可能にし、他者とのコミュニケーションのきっかけに。ダブルスキンにより、冬は温室、夏は木陰となり、室内気候を調整します。



撮影：浅川 敬

2階の「通間(とおりま)」。南北に細長い筒状の部屋に、同一断面の小さい梁を連続させることで構造・工法の単純化を図りながら、一体感・連続感・温もりのある質感をつくり出しています。

GRAND PRIX

👑 グランプリ 【非住宅部門】

オークフィールド  
八幡平  
(岩手県)

桑原聡建築研究所 様

受賞者



桑原聡 様  
一級建築士 桑原聡建築研究所。  
東京理科大学 理工学部 建築学科卒、東京藝術大学  
大学院 美術学部 建築科修了後、不動産分野で8年、  
のち独立。  
以来22年、住宅、集合住宅、オフィス、店舗ビル、レスト  
ラン、ショールーム、医療施設、高齢福祉施設、特注家具  
の製作を手掛ける。建築設計だけでなくインテリア、家具、照明、ファブリック、小物の調達、さらにディス  
プレイに至るまで、クライアントのライフスタイルをトータルに表現し続けている。  
旅と山を愛する、1960年東京都中野区生まれ。  
www.s-kuwahara.com

撮影：フォワードストローク



雄大な自然に包まれ、  
生きがいの創出を目指す  
革新的なシニアライフ。

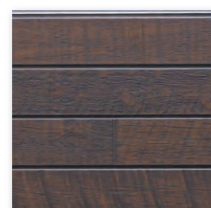


南側外観。左側がレストラン・管理棟、右側が住居棟。

使用商品



キャストイングウッド  
スモークシルバーMG  
EPC247N/EPC247F



キャストイングウッド  
ダークブラウンMG  
EPC242N/EPC242F



ナチュラルラインV  
プラムMGチャコールII  
EFX3754G



ナチュラルラインV  
プラムMGアイボリーII  
EFX3752G

※1 Continuing Care Retirement Communityの略。  
健康時から介護時まで継続的ケアを提供するアメリカに  
おける高齢者施設コンセプト。日本版CCRCの構想では、  
「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地  
方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活  
を送るとともに、医療や介護が必要な時には継続的なケア  
を受けることができるような地域づくり」を目指すもので  
あると定義されている。

NICHHA SIDING AWARD2016  
の非住宅部門グランプリに輝いたのは、  
岩手県八幡平のサービス付き高齢者住  
宅「オークフィールド八幡平」。併設す  
るレストラン棟で食事を提供する木造  
準耐火共同住宅、4棟32戸（二期）が、  
南に岩手山、北に八幡平、東に姫神山を  
望む自然環境に恵まれた立地に、敷地  
の緩やかな高低差を生かし、リズムカル  
に雁行配置されています。大都市に住  
む高齢者の地方移住を促し、地域社会  
において健康で、アクティブに生活す  
ることを目指した、日本版CCRC<sup>※1</sup>の東北  
第一号案件として評価されています。

審査員評

岩手県八幡平高原の  
広大な自然景観の中に建つ長期居住  
型の高齢者福祉施設である。8世  
帯2階建のユニットを雁行させながら  
分棟を構成し、緩やかな斜面に分散  
配置させ、これらをスロープの通路に  
よってレストラン・管理棟に連絡してい  
る。巨大なフィックスガラスのピク  
チャー・ウィンドウと奥行のあるベラン  
ダを組み合わせることによって凹凸のあ  
るファサードを構成し、外装に4種類の  
サイディングを張り分けることによっ  
て、街道沿いの集落のような美しい景  
観をつくり出している。

受賞者インタビュー

シエラのいるサービス付き  
高齢者住宅

ニチハ グランプリ獲得、おめでとうござ  
います。受賞をお聞きになられた時の  
ご感想は？

桑原 僕ね、応募したのが早かったんで  
すよ。出してから随分長かったので、忘  
れていたぐらいで。担当の営業の方か  
ら「獲りましたよ。予想通りですね」  
と連絡があって、僕はともかく、担当  
者の方は受賞を確信されていたみたい  
ですね（笑）。

ニチハ そうだったんですね（笑）。車窓  
から「オークフィールド八幡平」の南側  
外観が見えてきた時に、「かわいらし  
い！」が第一声でした。窓にかかっていた  
カラフルなカーテンもそうですが、全体  
のスケール感も高齢者住宅のように感  
じられなくて。併設されたこのレストラ  
ン棟は、吹抜けの開放感と明るい室内  
空間が素敵で、とても食堂とは思えま  
せんね。

桑原 僕はこの料理が大好きですね。毎  
回ここへ来ると食事をいただくんです。  
このレストラン棟での食事を「給食業者  
に任せないこと」というのが僕の提案と  
して重要な部分でした。業者に任せた  
途端に普通の施設になってしまうん  
ですね。ホテル安比グランドで料理長を



撮影：フォワードストローク

吹抜けから自然光が差し込み、階段や廊下のある共用部を明るく照らす。蹴上5寸×踏面1尺の緩やかな階段、敷地の傾斜に沿ったスロープはとても上りやすく、日常の運動の場になっています。



シェフの伊藤和夫氏(左)と、株式会社アーベイン・ケア・クリエイティブ 代表取締役 山下直基氏(右)。「この誌面をご覧になった旨をお電話くださった方、先着10名様に、無料ご宿泊体験(一泊二食)をプレゼントいたします」とのこと。  
連絡先TEL0195-71-1750まで。

されていたシェフが、この農園で収穫された食材を使って料理を作ってくださいます。厨房との仕切りをガラス張りにしたことで、自分たちのために作ってくれる料理人さんがいるということがわかります。逆に、向こう側からもこちらで食べているのが見えるので、誰がどんな表情をして食べているか、どれくらい食べているかなど、いろんなことがわかるわけです。給食だと普通全部まとめて作りますから、薄味で柔らかくて、誰でも食べられるものになってしまふ。柔らかいものばかり食べていると、どんどん歯が悪くなってしまいますね。やっぱり硬いものも食べないと。原価や人件費の管理は相当大変だと思いますが、ここではそうしたコミュニケーションも図っています。

それには居住者のためだけの食堂ではなく、地域に開かれたものにしたたいと、一般のお客さまにも開放していますし、キッチンカウンターはパーティーや料理教室などのイベントにも使われています。

**ニチハ** だから、床やテーブルに木がたくさん使われていて、居心地が良いんですね。

**桑原** この建物は木造準耐火構造で、被覆で耐火火を取得しています。最近はCLTや燃えしろ設計で構造をあらわ

しにしたりするものが結構あります。そこはコストが非常に厳しかったので、一番ローコストな被覆の形になりました。なのでその分床や家具は徹底的に木にこだわっています。床にはオーク材、テーブルの天板にはパレット材といって、スギやオーク、チークなど、いろいろな廃材を利用してオリジナルで制作しています。

薪ストーブも暖房機能以上に重要で、コミュニケーションの場をつくる役目を担っています。人がこの周りに自然と集まりますのでね。そういう意味では火と木に触れられ、この中にいれば自然が全て感じられるというコンセプトになっています。

さらにここは、レストラン棟と住居棟が別棟になっていて、開放された渡り廊下で繋がっています。毎日、食事をするためにこのレストラン棟に来ることが「お出かけ」になるように配慮しているわけです。皆さんきちんと服を着て、女性の方はお化粧されたりね。食堂まで



撮影：フォワードストローク

レストランオークテラス。テーブル、いす、照明など全て、桑原氏によるデザイン&コーディネート。先日、スイス、ナポリ、ニューヨークから海外アーティストが空いている部屋に宿泊され、ここで演奏会が開催されたそう。

建物内で繋がった暖かい環境だったりすると、スリッパを履いてパジャマのままで行き来できたりしちゃいますからね。

### 健康を維持しながら 楽しく生きる場所に

**ニチハ** こちらの敷地をご覧になって、どのような建物にしようと思われたのでしょうか？

**桑原** ご覧のように、南に岩手山、北に八幡平、東に姫神山を望む自然環境に恵まれた土地で、眺望は素晴らしい。一方ここは歴史文脈の希薄な土地でもありまして、近代に鉱山で栄えた町なので、古い街並みは一切ないんで

限らず、住みたくりますよね。

**桑原** 僕らはこの環境が好きなので、高齢者だけじゃなく、この場所が好きな人なら誰でも住んでほしいという思いでつくりたいと思ったんです。たまたまそれが高齢者だったということで「明日からここを若者向けのホテルにします」と言っても成り立つちゃうんです(笑)。建築つてそういうものだと思っんです。逆に施設にしかない建築をつくったらダメです。転用がきかなくなってしまう。建築のプロタイプって、機能と密接なんですけど、あえてターゲットを狭めないやり方をしたいなど。だから、施設っぽくしたくないという以前に、ターゲットを固定したものにしたくないということが重要だったんですね。

**ニチハ** バリアフリーに対しても、あえて安全で積極的なバリアを設ける、という逆説的な解釈をされた設計を試みていらつしやいますね。70歳を迎えるご両親のために設計された住宅「古稀庵」では、ご両親の反対を押し切つて……。

**桑原** エレベーターをつけなかった(笑)。もう18年前になりますけど、ホームエレベーターを望んだ両親を説き伏せて、階段にしました。蹴上100mm、踏面300mmの1.2の緩勾配の階段を6段ごとに踊り場を設けて、螺旋状に4回。今年88の父も84の母も、寝室、風呂、

す。そこで、環境に根差した土着的といえるような建物を根付かせたいと思いました。民家が連なる集落のような景観をつくりたいというのが当初からの計画で、分節することは最初から考えていました。

1住戸25㎡を標準的なユニットとして、8戸入った1棟が60坪。真ん中の共用部分を入れて約85坪です。ちょっと大きく見えますが、この辺りの民家はそのくらいのボリュームがあるんです。現在、第一期として4棟32戸のコミュニティを形成していますが、今後、第二、第三期と進めると、最終的には約100世帯になる計画です。真ん中の劇場風に円弧を描く傾斜地の農地をトライアングルのように3つの棟で囲む集落となる予定です。

**ニチハ** オークフィールド八幡平を「施設にしたくない」という思いがあったそうですが……。

**桑原** 運営会社である(株)アーベイン・ケア・クリエイティブの山下さんからこの話をいただいた時に、まず最初に「介護施設じゃないですよ」と彼に確認しました。そうしたら、山下さんは「そうです」と。この景観を好んで、



洗濯機のある1階と2階のLDKを1日に何度も往復させられています(笑)。

フィンランドの代表的な建築、アルヴァアルトの出世作である「バイミオのサナトリウム」は、当時、結核患者のための療養所として建築され、現在は脳梗塞などでリハビリが必要な患者のための病院となっていますが、アルトがつくった階段寸法が、蹴上135mm、踏面340mm。僕の設計よりも少し緩い寸法で、実に上りやすいんです。患者さんが、エレベーターを使うより階段を使いたくなるように設計されたのではないのでしょうか。健康な人が使うと、小学校の階段を2段飛ばしたくなるみたいな感じなんですけどね。だけどそれは体力があるからそう思うわけで、そうでなかったら、その寸法は大事なわけです。

オークフィールド八幡平でも、蹴上5寸、踏面1尺と基準値を遙かに下回る緩やかな階段を2カ所設置しています。ここは、もともと農地だった場所、造成をかけてフラットにされる寸前に計画を見直しにかりました。そこで私の計画では、住居棟中廊下に3カ所、1/12のスロープを設けて、敷地の高低差に馴染ませています。この住居棟内を毎日歩行すると、自然と日常の運動になるというわけです。

# GRANDPRIX

👑 グランプリ 【非住宅部門】

オークフィールド八幡平  
(岩手県)



大きなフィックス窓から正面の岩手山を眺めるご婦人の部屋。ロールスクリーンのカラフルなカーテンとペンダント、照明スタンドは桑原氏が選定したもの。住戸には、全て乾燥機付きの浴室、トイレ、ミニキッチン、洗濯機パン、収納棚、エアコン、光回線の無線LANがついています。

全体一階平面図。第二期、第三期の計画案も掲載されています。



## 使ってたかった サイディングの素材力

ニチハ 外壁にサイディングをご採用になるのは…

桑原 初めてです。予算面でというのもありますが、実は、今回の試みは僕もね、発見だったんです。たまたまホームページでニチハさんがヒットして、すぐに現物を見たいと東京ショールームに行っただけです。木目柄を探していたので、このキャスティングウッドを見て、触って、いや、もう「よくできてるじゃん」って(笑)。

僕は、別荘に羽目板みたいな感じで、自然環境の豊かな場所では外壁に

こちらの病院の建替え、改修プロジェクトにも参画されていらつしやるそうですね。  
桑原 同時期に、近くの東八幡平病院の建替え計画がありまして、建築コストの高騰によって計画が頓挫していたところ、こちらの理事長と病院の理事長に交流があり、何かアイデアがないかと僕のところに相談があったんです。鉄筋コ

ンクリート2階建の建物は、築年数がありました。耐震診断の結果そのまま使うことになって、ただ、6人部屋は今の時代厳しいということで4人部屋を提案しました。そうすれば費用も1/3です。もちろん収支の見込みは外部で検証して、やっと計画が前に進みだしました。  
中期医療を担う地域病院ですが、高齢地域なのでリハビリ業務が主です。から、療養環境としては、比較的アクティブな環境をつくらうということになりました。病院と自宅の橋渡しをするという意味では、考え方は思いつきり住宅寄りなんです。そこにコンセプトをもっていけば、あとは自分の最も得意とするところなのでね。病院は素人の僕ですが、役目はあるわけです。病院専門の設計事務所と役割分担しながら、僕は主に、患者が過す

木を多用してきました。森林が豊富な日本だったら木を使うのはごく当たり前のことで、お客さま自身もそういった固定概念を持っておられることもあって、簡単に使ってきました。しかし、それと同時に経年変化による木の傷み具合もよく見てきた。木は、割れますし、捻じれますし、キツツキの問題もあります。軽井沢の別荘は、2mぐらい庇を伸ばして、天然木の外壁を保護する屋根を架けましたが、一方で積雪荷重という問題も出てくる。

そうした経験を経て、そろそろ代替えの素材を考えなければと思っていました。サイディングは工業製品ですが、そもそも工業製品って、今やレンガも工業製品ですし、もつと言えれば木でも加工を加えれば工業製品であることに変わりがない。それら工業製品から取捨選択することが建築家のスタンダードなわけです。素材が何かということでは我々は判断しますが、そこではもう有機的なものか、無機的なものかは関係ないのかな。サイディングが性能と美観を実現できるものだと考えたなら、全然抵抗感がなくなりました。すよ。この物件をきっかけに、サイディングという素材に対する考え方が変わりました。

ニチハ それが発見だったというわけですね。  
桑原 本物しか使わないとなると、さま

空間のデザイン、動線、設備、照明など、患者目線から考えた生活環境を再構築する提案を受け持っています。  
ニチハ 健康寿命を延ばすことが考えられたこの地域の特性が、東京など遠方から移住される高齢者にとっても魅力となつているわけですね。

桑原 そうですね。今はそれほど移住者が多いわけではありません。ですが、大量に広告を打って集客をするのではなく、口コミでじわじわと浸透させていく方がいいと思つています。オークフィールド八幡平では、シェア農園、生涯学習、芸術文化活動など、生きがいを出出するためにさまざまなサポートが考えられていますから、ご賛同される方は是非、一度訪れてみてはいかがでしょうか。  
ニチハ 本日はどうもありがとうございました。



オークフィールド八幡平  
●運営会社:株式会社アーベイン・ケア・クリエイティブ  
●協力医療機関:一般財団法人みちのく愛隣協会  
東八幡平病院  
●協力機関:社会福祉法人みちのく協会  
●入居費用:自立方 111,000円/月  
介護保険制度をご利用の方 75,000円/月  
※家賃・管理費込(食費・水道光熱費・介護費用実費)  
●入居要件:60歳以上  
●実施設計:有限会社ケイズクリエイツ(盛岡市)  
●施工会社:株式会社アルパライフ

さまざまな無理が生じるということもあるんですね。例えば、伝統建築保存地区などの建物は、本当に昔ながらの焼杉を保存し、継承しながらやっていまいければ、どうしてもそこに新しく建築される建物もある。そういう場所でもその補助金が出ないとなった場合、維持管理を考えると、イミテーションでもそれに近いものを計画していくべきだろう。そういう場面において、材料としてのポテンシャルがサイディングに十分あるだろうと思えます。

## 地域活カガキを握る アクティブシニア

ニチハ オークフィールド八幡平は、東北初のCCRCと位置付けられているのでですね。日本版のCCRCを推進されている、三菱総合研究所プラチナ社会センターの主席研究員である松田智生さんから、CCRCの話聞いた時、まさにそれって僕たちが思い描いてつくっている、目指していることそのままじゃないかと思つたんです。彼は、これからは高齢者であっても、より健康でアクティブに、しかも地域の活力になつていくような担い手になるべきだと。高齢者も若者も一体となった参加型のコミュニティづくり、町づくりをしないと、それが地方創生の鍵となるだろうと説いて

桑原 たまたま合致していたということですね。日本版のCCRCを推進されている、三菱総合研究所プラチナ社会センターの主席研究員である松田智生さんから、CCRCの話聞いた時、まさにそれって僕たちが思い描いてつくっている、目指していることそのままじゃないかと思つたんです。彼は、これからは高齢者であっても、より健康でアクティブに、しかも地域の活力になつていくような担い手になるべきだと。高齢者も若者も一体となった参加型のコミュニティづくり、町づくりをしないと、それが地方創生の鍵となるだろうと説いて

## 受賞者リスト

### グランプリ

【住宅部門】  
●矢吹町中町  
第二災害公営住宅(福島県)  
(設計)若尾未来・倉本剛・長尾亜子 様  
(協力)野上恵子 様

【非住宅部門】  
●オークフィールド八幡平(岩手県)  
桑原聡建築研究所 様

### プラチナ賞

【住宅部門】  
●MS-ZEROプロトタイプ(広島県)  
株式会社石岡リアルティ 様

【非住宅部門】  
●トザンイースト(神奈川県)  
株式会社スペース 様

### ゴールド賞

【住宅部門】  
●I様邸(岡山県)  
別枝大輔建築研究所 様

【非住宅部門】  
●邦和みなとゴルフ(愛知県)  
株式会社竹中工務店 様

### 入賞

●S様邸(宮城県)  
株式会社高工建設 様  
●ORIENT BLACK  
浦和区岸町6丁目(埼玉県)  
株式会社三栄建築設計  
株式会社 様

●おおたかの社32-1期(千葉県)  
ガラスガーデンヒルズ  
株式会社 様

●Rの音階(東京都)  
株式会社sside 様

●ペインターハウス(神奈川県)  
ムト力建築事務所 様

●FINISS 若松南公園J区画(愛知県)  
株式会社吉川住建 様

●桃栗庵(愛知県)  
株式会社蔵創 様

●東石切町の家(大阪府)  
心 建築工房 様  
●重ね屋根の家(京都府)  
一級建築士事務所ROOTE 様  
●S-HOUSE(広島県)  
奥迫眞一建築設計事務所 様

### リフォーム賞

●木下産婦人科(滋賀県)  
平岡建築デザイン  
(宗教法人瑞現寺病院)(北海道)  
株式会社  
二木柳慶一建築研究所 様  
●エルム歯科小児歯科(青森県)  
有限会社寛建築設計事務所 様

●不動町モデルハウス(宮城県)  
ワイケイホーム株式会社 様

●Y様邸  
Symphony concept「瀧」  
(栃木県)  
NASUホーム 様・  
那須土木株式会社 様

●I様邸(兵庫県)  
株式会社リブライフ 様

●美晴家(茨城県)  
有限会社横島建築設計事務所 様

●O様邸(千葉県)  
スターツホーム株式会社 様

●柏A34-1期(千葉県)  
ガラスガーデンヒルズ  
株式会社 様  
●O様邸(千葉県)  
株式会社富士住建 様

### ニチハ賞

●W様邸(埼玉県)  
近藤建設株式会社 様  
●フライトレジデンス  
石神井公園(東京都)  
株式会社アスリート 様・  
株式会社三栄建築設計  
株式会社サニーライフ 様

●(仮称)稲城市押立No.4  
新築工事(東京都)  
株式会社三栄建築設計  
溝の口支店 様

●K様邸(東京都)  
浅香信太郎デザイン室 様

●K様邸(神奈川県)  
株式会社アップルホーム 様

●Y様邸(長野県)  
株式会社シンエイ 様

●M様邸(愛知県)  
studio[42] 様  
●金華の家(岐阜県)  
梶浦博昭  
環境建築設計事務所 様

●河合内科医院(岐阜県)  
内藤建設株式会社 様  
●T様邸(兵庫県)  
株式会社リブライフ 様  
●S様邸(兵庫県)  
有限会社キサラギホーム 様  
●玉島長尾第3団地2号地(岡山県)  
ワウハウス岡山株式会社 様  
●M's ハイツ(香川県)  
有限会社長瀬工務店 様  
●N様邸(熊本県)  
株式会社アーデルハウス 様  
●K様邸(熊本県)  
株式会社Zero Design 様

●(仮称)稲城市押立No.4  
新築工事(東京都)  
株式会社三栄建築設計  
溝の口支店 様

●K様邸(東京都)  
浅香信太郎デザイン室 様

●K様邸(神奈川県)  
株式会社アップルホーム 様

●Y様邸(長野県)  
株式会社シンエイ 様

●M様邸(愛知県)  
studio[42] 様  
●金華の家(岐阜県)  
梶浦博昭  
環境建築設計事務所 様

撮影:フォワードストローク



回つていたんですが、そこが彼とぴったり同じだったんです。  
僕らはそれまで、自分たちの地域でしか考えていなかったのですが、それが全国に繋がっていくと考えた時にすごく自信を持ちました。僕は今、そういう話を地方で少しずつ始めていて、今後、ここでトライしたことを別の場所でも実現させたいなと思つています。  
ニチハ 将来、医療や介護が必要になつた場合でも、すぐ最寄りに総合病院があるという点も、この入居者の方々にとつての安心は大きいですね。そ

住居棟北側外観。敷地傾斜に沿って生じる緩やかな段差が、分節した住戸の表情にさらに変化を与えています。



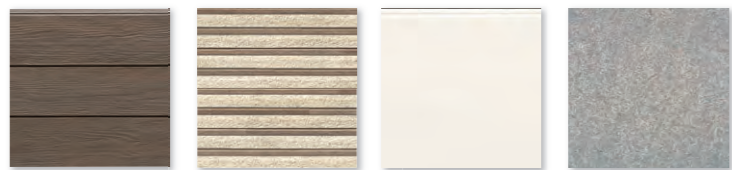
👑 プラチナ賞【非住宅部門】

トザンイースト(神奈川県)  
株式会社スペース 様



撮影: Misonoo Taichi

使用商品



ヴァンテージウッド スキムドMGチャコール EPC763F  
アルモニ ナチュラル EJB854E  
フラットウォール プリミエMGホワイト EPS242G/EPS242N  
センチュリー耐火野地板 CPN1800

※上記商品はリニューアルにより下記品番・色名に変更になります。

EJB8523E ナチュラルE

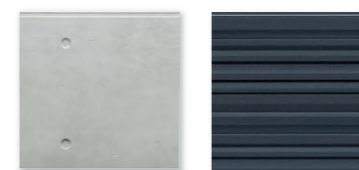
**審査員評** 小田原駅前に建つ老舗の商業施設の建替えである。海外からの観光客も多いため、伝統的でありながら近代的な商業施設が求められた。建物全体のデザインは伝統工芸である寄木細工と小田原提灯のイメージでまとめられている。大きな屋根と庇、列柱、出格子などのボキヤブラーリーに加えて、数種類のサイディングを巧みに使い分けることによって、街並みに連続する開かれた商業施設を実現している。

👑 プラチナ賞【住宅部門】

MS-ZEROプロトタイプ(広島県)  
株式会社石岡リアルティ 様



使用商品



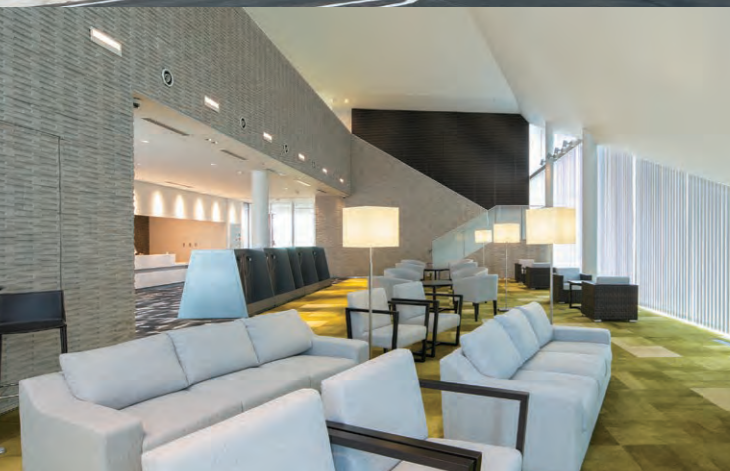
コンクリート打ちっ放し16 MGグレーⅡ EPC432F  
リキッドシェイプ シャド- MGネイビーⅡ SPA247P (販売終了)

※モエンサイディング S18(SPA123P)にリニューアルしました。

**審査員評** 注文住宅と建売住宅の中間コストを狙った木造3階建ての戸建住宅である。奥行き深い庇と袖壁によってファサード全体を縁取り、ペランダや3階部屋の突き出しを加えることによってファサードに陰影をつけている。さらに白色とネイビー色のサイディングを巧みに使い分けることによって、木造でありながら一見するとコンクリート造のマンションのような重厚な雰囲気を出している点が目をひく。

👑 ゴールド賞【非住宅部門】

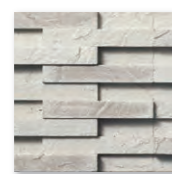
邦和みなとゴルフ（愛知県）  
株式会社竹中工務店 様



使用商品



TypeSP  
純白  
TF101



スティックフォルム  
テールホワイト  
AY8216

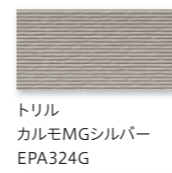
**審査員評** 打放しゴルフ場に付属するクラブハウスである。特性のない郊外に立地する施設なので、三角形や斜線を多用することによって一目でわかるような視認性の高いデザインとしている。さらに巨大なガラスのカーテンウォールによって自然光を取り入れ、外観全体を白色とシルバー色でまとめることによって、女性にも受け入れやすい明るく開放的なデザインにまとめている。

👑 ゴールド賞【住宅部門】

様邸（岡山県）  
別枝大輔建築研究所 様



使用商品



トリル  
カルモMGシルバー  
EPA324G



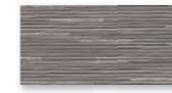
アリエッタ  
デリエMGクローム  
EJB364E

※上記商品はリニューアルにより下記品番・色名に変更になります。

EJB3624E  
デリエMGクロームE



キャスティングウッド  
ミディアムブラウンMG  
EPC241N/EPC241F



フォリユレ  
レアOMGブラック  
EJB355E

※上記商品はリニューアルにより下記品番・色名に変更になります。

EJB3525E  
レアOMGブラックE



キャスティングウッド  
スモークシルバーMG  
EPC247N/EPC247F



アルモ  
クラウド  
EJB855E

※上記商品はリニューアルにより下記品番・色名に変更になります。

EJB8524E クラウドE



シャルムロック  
マハビMGスモーク  
EPC285F

**審査員評** 新興住宅地の一面に建つ中庭型平面の住宅である。建物全体を単純な箱型にまとめ、U字型平面を持つ1階の外壁は明るい色のサイディングで水平線を強調することによって外部空間へと連続させ、口の字平面の2階外壁はブラウン色のサイディングを張り回すことによって木質的なデザインとしている。インクジェットを用いたIcubeやオペリアシリーズを1階外壁のアクセントに用いている点が注目される。



入賞

おおたかの杜32-1期  
(千葉県)  
ポラスガーデンヒルズ  
株式会社 様

使用商品

キャストイングウッド  
 ・ミディアムブラウンMG EPC241N/EPC241F  
 ・ダークブラウンMG EPC242N/EPC242F  
 ・スモークシルバーMG EPC247N/EPC247F  
 ・ナチュラルオーカーMG EPC248N/EPC248F  
 しぶきV/プラムMG/パニラホワイトII EF5356G/EF5356C

**審査員評** 開発の進む新しい地域。切り妻屋根が多い中で、スクエアフォルムの家が並ぶことで際立ちと差別化に成功した家。箱の出方を変えたことで、見る角度によつては家々が一体化しているようにも見える。木目柄の色違いで配したことで、ペイスは白でありながらサッシや破風を黒にしたことで全体の印象もすっきりと引き締まった。

入賞

Rの音階  
(東京都)  
株式会社sside 様

**審査員評** 狭小地に建つ細長い三階建ては、都内ではよく見かけるが、窓を飛び出させることで立体感が出た。位置や形を変えることで表情も豊かになっている。「光と気配」というテーマを完遂するために、白いサイディングが上手に取り入れられている。

**使用商品** フラットウォール/  
アグレアMGピュアホワイト EPS241G/EPS241N



入賞

S様邸  
(宮城県)  
株式会社高工建設 様

**審査員評** 全体的に和風の雰囲気を感じたデザインであり、ひび割れに強い大壁工法などのサイディング技術もきちんと取り入れた施主思いの家である。豊かな植栽ごしに土の色をした外壁が見える。新築でありながら懐かしさを醸し、近隣環境の向上に寄与している。

**使用商品** モエン大壁工法 エンシェントブリック仕上げ

入賞

ORIENT BLACK  
浦和区岸町6丁目  
(埼玉県)  
株式会社三栄建築設計  
浦和支店 様

**審査員評** 一見事務所のような住宅である。幅二間だが横の線を何本か配したことで狭小感を緩和している。建売りでこのスタイルとなると、買い手をかなり選ぶことになるだろうが、正面から見るとときに両脇にわずかに見えるだけのセンターサイディングに継ぎ目がないものを選ぶなどの配慮は評価したい。

**使用商品** ST型センターストライプU/ブラック 1ST1L01L





©KOJI KAWAI

入賞  
 桃栗庵  
 (愛知県)  
 株式会社藏創 様

**審査員評** 視線を遮りつつ開口部は設けたいという施主の希望を、遠さや高さで叶えた家である。玄関を少し高くする、塀を縦に使うなど、視線を遮るための工夫がこの家に軽やかな新しさをもたらしている。柄がありながら、遠目には無地に見えるプラチナグレーのサイディングが家の形を上手に引き立てている。

**使用商品**  
 リーガストーン調V/ランダMGプラチナ EFX3455N/EFX3455C  
 コルモストーン調V/フォンドMGダーク EFX3354N/EFX3354C



撮影:新建築社

入賞  
 ペインターハウス  
 (神奈川県)  
 ムトカ建築事務所 様

**審査員評** 郊外の住宅地に建つ単調明快なファサードである。その明るい色調は、突出することなく街並みに馴染みながらも自立した存在感を見だし、愛らしい箱形のフォルムは街を明るく照らしている。ピンポイントの張り分けデザインは、耐力壁部分を見分けるという将来の増改築を見据えた隠された仕掛け。これもまた個性である。

**使用商品**  
 よろい4段木目調/ティントMGベージュ SPA112P  
 よろい4段木目調/ティントMGイエロー SPA114P

入賞  
 東石切町の家  
 (大阪府)  
 心 建築工房 様

**審査員評** 微かに日本的なDNAが感じられるモダンな住宅である。ファサードの線を最小限に抑え、裏に抜けるピロティ部分も慎重にデザインされている。全体を白くシンプルに整えながら、細部に「数寄」の精神が見られるのが特徴である。



**使用商品** フラットウォール/プリミエMGホワイト EPS242G/EPS242N  
 ウッドシェイク/シュビネMGブラウン EJB653E (2016年12月生産中止)

入賞  
 FINISS  
 若松南公園 J区画  
 (愛知県)  
 株式会社吉川住建 様

**審査員評** 人通りの多い前面道路面のファサードから開口を取り去った家である。それがプライバシー配慮以上に、この住宅の表情を決めるのに一役買っている。無機質な壁と注意深く置かれた石と植栽とのコントラストが、堅固さに程よい温度をもたらししている。



**使用商品** TypeSP/純白 TF101  
 スーパー/プリミエMGホワイト EFF111F  
 カルナウッド/カーボンブラックMG EFF165Y



after

👑 リフォーム賞

木下産婦人科  
(滋賀県)  
平岡建築デザイン  
一級建築士事務所 様

**審査員評** さまざまな色や形や素材を孕んでいたリフォーム前の建物を、形を大きく変えることなく、ここまでイメージは変えられる、と示した好例である。「産まれる」を大胆に表現しつつ、周囲の景観や来院する人への、媚びではない静かな配慮も感じられる。



before

使用商品 コートリーウッド/トランクMGウォルナット EPS494F

©スターリン エルメンドルフ



👑 入賞

重ね屋根の家  
(京都府)  
一級建築士事務所  
ROUTE 様

**審査員評** 三方向を家に囲まれた細長い敷地、かつ京都市の厳格な条例という条件を克服しながら、施主の要望である「明るい室内空間」「個性的な外観」を形にした一つの正解例である。屋根を左へ右へずらし、妻部にガラスを入れることで、暗くなりながらも中央部分にも光が届いている。脇に配されたランダムな窓は書棚の光抜けとして機能しているし、右の田の字の窓は家が和に走りすぎるのを軽減している。

使用商品 モエン大壁工法 ミーティア仕上げ

©HIROKI KAWATA

👑 リフォーム賞

コックピットの  
ある家  
(徳島県)  
新居建築研究所 様

**審査員評** 親がかつて暮らしていた実家を、形を活かしながら大きく変えたスケルトン&インフィルの家である。建物そのものの形を変えないことで、前の家を建てた親の、家や家族に対する思いや気配が残されている。外壁の色柄使いにも無理がなく、棲み継ぐという言葉がふさわしい家となった。

after



before



使用商品 キャスティングウッド/カーボンブラックMG  
EPC244N/EPC244F

👑 入賞

S-HOUSE  
(広島県)  
奥迫眞一  
建築設計事務所 様

**審査員評** 施設臭を払拭したモダンな表情を湛えたグループホームである。門のしつらいと一見相容れない印象も与えるが、北東から眺めた外観は、桂離宮の茶室、松琴亭の襖の市松模様を連想させる。



使用商品 フラットウォール/アグレアMGページュ EPS243G/EPS243N  
ST型センターストライプU/ブラック 1ST1G01L



👑 Fu-ge賞

I様邸  
(兵庫県)

株式会社 リブライフ 様

審査員評

継ぎ目のない白いサイディングに黒でコントラストをつけながら、近づくると黒は木目。細部へのこだわりが作品のクオリティを決定づける。外構も外壁の白と調和しており施主の意向を叶えながら丁寧につくられた家である。敷地形状を活かした二階部壁面の存在感は、シンプルであるが故であり上品さを兼ね備えている。

使用商品 セルクレール/エルフィンMGクリアホワイト EFF021Y/EFF021F  
キャストイングウッド/カーボンブラックMG EPC244N/EPC244F  
軒天12 木目調/ティンバーチャコール YL143



👑 Fu-ge賞

G様邸  
CASA REGISTA  
(栃木県)

NASUホーム 様  
那須土木株式会社 様

審査員評

元来の自然的要素とサイディングの融合。パッシブエネルギーを上手に活かしながら周囲の景観に馴染ませた、無理のないデザインである。木々に囲まれた自然の中の無機質な白はひときわ引き立っており、木目柄と黒い破風が家全体を良い具合に引き締めている。

使用商品 カルナウッド/ダークブラウンMG EFF164Y  
タンレピ/セストMGホワイト EFF141F

👑 Fu-ge賞

子育て世帯向け  
地域優良賃貸住宅  
ヴィラS&C  
(広島県)

株式会社 感性舎 様

審査員評

周囲の落ち着いた、たたずまいに溶け込む共同住宅である。子育て世代はそれ以外の世代よりも多くの色とものに暮らしていることが多いが、建物そのものを落ち着かせる色調と木目柄ですっきりとまとめたことで外観を騒がしくさせない配慮が評価できる。



使用商品 スプーモ/プリエMGホワイト EFF111F  
スプーモ/フロストMGベージュ EFF113F  
スライウッドII/グレンMGメイプルII EFF046F  
スライウッドII/グレンMGブラウンII EFF048F  
スライウッドII/グレンMGチャコールII EFF0410F  
軒天12 エンボス調/シェルホワイトII YL111  
軒天18 エンボス調/シェルホワイトII YL511  
アウティ 押し破風 SLシリーズ/ホワイト JA178111P

👑 Fu-ge賞

T様邸  
(岐阜県)

株式会社  
フェスティナ・レンテ 様

審査員評

山の麓に建つ家。周囲の景観を損なうことなく、和のイメージどおり横ラインをすっきりと通している。山を背景に一見シンプルにまとめられているが、見せる、隠すなど細かな配慮がなされている。



使用商品 ルボン/レセピMGホワイト EFF101F  
ルボン/レセピMGネロ EFF105F

## モインエクセラード16



## ビストウォール

サイズ: 16×455×1,820mm  
4,400円/枚(税抜)  
5,313円/㎡(税抜)

タイルと小石をミックスし、  
R面と揺らいだ縦目地が、柔らかい印象に。  
R面を取り入れたピースが、  
光の方向によって陰影を大きく変化させます。



ビストMGチャコール イメージ

## モインエクセラード16



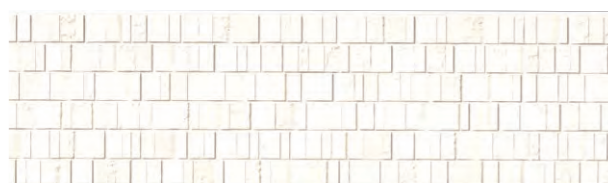
## シントア

サイズ: 16×455×1,820mm  
4,400円/枚(税抜)  
5,313円/㎡(税抜)

ピースの傾きと細かな石をちりばめた  
テクスチャーで陰影が変化します。  
均一なピッチの縦ラインが、  
建物にシャープな印象を与えます。



シントアMGホワイト イメージ



EFF201F ビストMGホワイト



EFF202F ビストMGアイボリー



EFF203F ビストMGベージュ



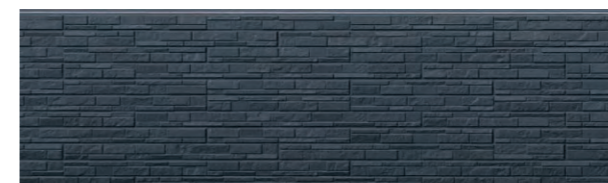
EFF204F ビストMGチャコール



EFF191F シントアMGホワイト



EFF192F シントアMGオフホワイト



EFF193F シントアMGネイビー



EFF194F シントアMGチャコール

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認をお願いします。

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認をお願いします。

# TOPICS and MORE

住宅取得・リフォームの新たな支援制度「住宅ストック循環支援事業」が始まっている。省エネ住宅へのリフォームや建替え、既存住宅の購入に対して手厚い補助を行うもので、マーケットの刺激策として大きな注目を集めている。

「住宅ストック循環支援事業」は、2016年度の第二次補正予算に基づき、国土交通省の新たな制度である。

- ・エコリフォーム
- ・良質な既存住宅の購入
- ・エコ住宅への建替え

—という3つの分野に対して補助を行うものだ。

制度を活用する上で注意しなければいけないのは、事前に事業者登録が求められていることである。

補助の対象は「自らが居住する住宅（購入して居住するものを含む）」つまりユーザーであるが、リフォーム事業者や建設業者、宅建業者などが申請手続きを行い、補助金は住宅所有者に全額還元するという制度となっている。

このため、事前に「住宅ストック循環支援事務局」に事業者登録を行う必要がある。言い換えれば、事前に登録していない事業者は、ユーザーから制度を活用したいと求

められても対応ができないということになる。

すでに登録受け付けは始まっており、締切りは平成29年3月末までなので、注意が必要だ。

**既存住宅購入+省エネ改修で最大65万円の補助**

「エコリフォーム」は、開口部の断熱改修工事、外壁、屋根、天井又は床の断熱改修工事、省エネ設備への交換工事に対して補助を行う。これらの工事を行った上でバリアフリー改修工事、木造住宅の劣化対策工事、耐震改修工事、リフォーム瑕疵保険への加入に対しても補助が行われる。

補助限度額は30万円、耐震改修工事を行う場合は45万円に引き上げられる。

「良質な既存住宅の購入」は、40歳未満の若者が既存住宅を購入する際に行うインスペクションの費用に対し5万円を補助するほか、「エコリフォーム」に対しても補助を行う。事業者が既存住宅を購入してリフォームを行う買取再販も対象だ。補助限度額は50万円、耐震改修を行う場合は65万円に拡大される。

「エコ住宅への建替え」は、旧耐震

住宅を除去するか、旧耐震基準の住宅を除去し建替えを行う場合を対象に補助が行われる。建替え後の住宅には一定の省エネ性能を持つことが求められる。

補助限度額は30万円であるが、認定長期優良住宅の一定の省エネ性能以上である場合は10万円または20万円を加算する。

（詳細は、住宅ストック循環支援事務局HPを参照：<https://stock.jtakujp>）。

**ユーザーメリットを訴求し制度の認知を**

「住宅ストック循環支援事業」は、2015年度に実施された「省エネ住宅ポイント」とよく似た制度である。

「省エネ住宅ポイント」は、「エコリフォーム」、「エコ住宅の新築」、「完成済の新築住宅」に対してポイントが発行され、一定の商品などと交換できるものであった。

「住宅ストック循環支援事業」は、ポイントではなく補助であること、事業者が申請することなどが大きく異なる点である。また、「省エネ住宅ポイント」の新築・完成済み新築ではなく、既存住宅と建替えが対象となっている点も異なる。ただ、

「エコリフォーム」の対象はほぼ同じであるなど、全体的なイメージは似ている。

「省エネ住宅ポイント」は、平成22年に「住宅エコポイント」としてスタート、平成23年に「復興支援・住宅エコポイント」と改称、平成25年にさらに拡充され「省エネ住宅ポイント」として実施された。

「住宅エコポイント」と「復興支援・住宅エコポイント」の累計発行件数は151万5509件、発行ポイント数は342億7986万に及び、住宅市場を強く刺激したといっている。住宅産業界からも「ユーザーにとってわかりやすい制度」と評価が高かった。

今回の「住宅ストック循環支援事業」も、ポイントと補助の違いこそあるものの、住宅産業界からの期待は強い。

ただ、「省エネ住宅ポイント」は、スタートからしばらくは認知度が低く、活用がなかなか広がらなかった。今回も、制度そのものの認知が広がらなければせっかくのユーザーメリットが活かせない。

まずは事業者登録を行い、積極的にユーザーに制度をアピールしてビジネスチャンスを広げていくことが事業者求められる。

## エコポイントに代わる新たな支援制度 住宅ストック循環支援事業がスタート

住宅取得・リフォームの新たな支援制度「住宅ストック循環支援事業」が始まっている。省エネ住宅へのリフォームや建替え、既存住宅の購入に対して手厚い補助を行うもので、マーケットの刺激策として大きな注目を集めている。

「住宅ストック循環支援事業」は、2016年度の第二次補正予算に基づき、国土交通省の新たな制度である。

- ・エコリフォーム
- ・良質な既存住宅の購入
- ・エコ住宅への建替え

—という3つの分野に対して補助を行うものだ。

制度を活用する上で注意しなければいけないのは、事前に事業者登録が求められていることである。

補助の対象は「自らが居住する住宅（購入して居住するものを含む）」つまりユーザーであるが、リフォーム事業者や建設業者、宅建業者などが申請手続きを行い、補助金は住宅所有者に全額還元するという制度となっている。

このため、事前に「住宅ストック循環支援事務局」に事業者登録を行う必要がある。言い換えれば、事前に登録していない事業者は、ユーザーから制度を活用したいと求

められても対応ができないということになる。

すでに登録受け付けは始まっており、締切りは平成29年3月末までなので、注意が必要だ。

**既存住宅購入+省エネ改修で最大65万円の補助**

「エコリフォーム」は、開口部の断熱改修工事、外壁、屋根、天井又は床の断熱改修工事、省エネ設備への交換工事に対して補助を行う。これらの工事を行った上でバリアフリー改修工事、木造住宅の劣化対策工事、耐震改修工事、リフォーム瑕疵保険への加入に対しても補助が行われる。

補助限度額は30万円、耐震改修工事を行う場合は45万円に引き上げられる。

「良質な既存住宅の購入」は、40歳未満の若者が既存住宅を購入する際に行うインスペクションの費用に対し5万円を補助するほか、「エコリフォーム」に対しても補助を行う。事業者が既存住宅を購入してリフォームを行う買取再販も対象だ。補助限度額は50万円、耐震改修を行う場合は65万円に拡大される。

「エコ住宅への建替え」は、旧耐震

住宅を除去するか、旧耐震基準の住宅を除去し建替えを行う場合を対象に補助が行われる。建替え後の住宅には一定の省エネ性能を持つことが求められる。

補助限度額は30万円であるが、認定長期優良住宅の一定の省エネ性能以上である場合は10万円または20万円を加算する。

（詳細は、住宅ストック循環支援事務局HPを参照：<https://stock.jtakujp>）。

**ユーザーメリットを訴求し制度の認知を**

「住宅ストック循環支援事業」は、2015年度に実施された「省エネ住宅ポイント」とよく似た制度である。

「省エネ住宅ポイント」は、「エコリフォーム」、「エコ住宅の新築」、「完成済の新築住宅」に対してポイントが発行され、一定の商品などと交換できるものであった。

「住宅ストック循環支援事業」は、ポイントではなく補助であること、事業者が申請することなどが大きく異なる点である。また、「省エネ住宅ポイント」の新築・完成済み新築ではなく、既存住宅と建替えが対象となっている点も異なる。ただ、

「エコリフォーム」の対象はほぼ同じであるなど、全体的なイメージは似ている。

「省エネ住宅ポイント」は、平成22年に「住宅エコポイント」としてスタート、平成23年に「復興支援・住宅エコポイント」と改称、平成25年にさらに拡充され「省エネ住宅ポイント」として実施された。

「住宅エコポイント」と「復興支援・住宅エコポイント」の累計発行件数は151万5509件、発行ポイント数は342億7986万に及び、住宅市場を強く刺激したといっている。住宅産業界からも「ユーザーにとってわかりやすい制度」と評価が高かった。

今回の「住宅ストック循環支援事業」も、ポイントと補助の違いこそあるものの、住宅産業界からの期待は強い。

ただ、「省エネ住宅ポイント」は、スタートからしばらくは認知度が低く、活用がなかなか広がらなかった。今回も、制度そのものの認知が広がらなければせっかくのユーザーメリットが活かせない。

まずは事業者登録を行い、積極的にユーザーに制度をアピールしてビジネスチャンスを広げていくことが事業者求められる。

### 住宅ストック循環支援事業の概要

	住宅のエコリフォーム	良質な既存住宅の購入	エコ住宅への建替え
要件	・エコリフォームを実施すること ・リフォーム後に耐震性が確保されること ※年齢制限なし	・若者(40歳未満)が既存住宅を購入すること ・売買に際して、インスペクションを実施し、既存住宅売買瑕疵保険に加入すること	・耐震性のない住宅を除去すること ・エコ住宅に建替えること ※年齢制限なし
補助事業者	・リフォーム事業者	・宅建事業者 ・インスペクション事業者	・建設業者(注文) ・宅建業者(分譲)
補助対象	・エコリフォーム	・インスペクション ・エコリフォーム	・エコ住宅の建設
補助額	・リフォーム工事内容に応じて定める額(定額)	・インスペクション 5万円/戸 ・リフォーム工事内容に応じて定める額(定額)	・30万円/戸(認定長期優良住宅やさらに省エネ性能の高い住宅の場合は40万円/戸、又は50万円/戸)
限度額	・30万円/戸 ※耐震改修を行う場合は45万円/戸	・50万円/戸(インスペクションとエコリフォームの合計額) ※耐震改修を行う場合は65万円/戸	・50万円/戸

### モインエクセラード16 ニューグランドパルレーズ

#### フォルラン

サイズ: 16×455×3,030mm  
6,900円/枚(税抜)  
5,005円/㎡(税抜)



アトレMGブラウン イメージ

穏やかな表情を持つ  
トラバーチンと砂岩で  
手仕事を持つ繊細な仕上がりを実現。  
アクセントはもちろんベース柄としても  
幅広くお使いいただけます。



EPB661N アトレMGホワイト



EPB662N アトレMGアッシュ



EPB663N アトレMGブラウン



EPB664N アトレMGチャコール

### モインエクセラード16 ニューグランドパルレーズ

#### バーミエ

サイズ: 16×455×3,030mm  
6,900円/枚(税抜)  
5,005円/㎡(税抜)

大きな面積にも使いやすい、  
馬目地を感じさせない石積み柄。  
起伏あるナチュラルなデザインが、  
陰影を豊かに魅せて  
素材感を引き立てます。



メルジェMGクリーム イメージ



EPB671N メルジェMGアイボリー



EPB672N メルジェMGクリーム



EPB673N メルジェMGブラウン



EPB674N メルジェMGチャコール



常識を覆す新内外壁材

COOL

MIRAIA / MEMORIA

GOOD DESIGN AWARD  
2016年度受賞ウッドデザイン賞受賞  
JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2016COOLは、「グッドデザイン賞」「ウッドデザイン賞」  
二つの賞を、W受賞いたしました。

COOLのことがよくわかるシンプルショー

MIRAIA  
ミライアMEMORIA  
メモリア

## ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号  
三井住友銀行名古屋ビル  
TEL (052) 220-5111  
編集/ナビユー編集室  
ホームページアドレス  
<http://www.nichiha.co.jp/>

## 編集後記

今年のSIDING AWARDでは、偶然にも住宅、非住宅部門のいずれも、高齢者のための集合住宅がグランプリに輝きました。もちろん、それぞれの用途や建設理由、テーマは異なるわけですが、「そこでどう暮らすか」ということが、建物の配置、構造、間取り、設備等に巧みに表現されていて、熟考が重ねられた背景と建物が重なります。

そこで、私の感じた共通点は2つ。高齢者のための住宅ながら、将来を見据え、若者でも、ファミリーでも、世代を問わず誰にでも住みやすい住宅であるという点。そしてもう一つは、人との繋がりにおいて、建物内、敷地内だけに留まらず、地域に開くための仕掛けが考えられているという点です。きっとここに住まう人々は、まちを、地域を支える主役となっていくのだらうと感じました。皆さんは何を感じましたか？アンケートをお待ちしています。皆様、来年も良いお年をお迎えください。(T)